

仲間を信じて、やりきった運動会

今年のスローガン「仲間を信じて 一生懸命 最後まで」を目標に、子供たちが精一杯躍動する姿が見られました。各学年、伝えたい思いを大事にし、計画的に取り組む姿がありました。運動会当日、各学年の表現では、それぞれの個性があふれる見ごたえのある踊りや動きが印象的でした。

【各学年の紹介】

1年生

1年生にとっては初めての運動会。表現の「ペコリナイト」は、軽快なリズムにのって、楽しく元気に踊りました。「リズムに合わせて手をぴっと伸ばそう！」と、目標をもって練習に取り組むと、みんなの動きがぴったり合うようになりました。

チェッコリ玉入れも、2年生に教えてもらいながら、力を合わせて頑張りました。かけっこも、ゴールを目指して一生懸命走りました。

雨の延期にも負けず、当日は気持ちを切り替え、力を出し切った姿は立派でした。一つのことをやりきった喜びを、また次の活動につなげていきます。



2年生

「願いは、叶う。」は、最初の練習から子供たちみんな一生懸命でした。1、2、3、4と心の中でカウントしながら、順番通りに踊ることを目指しました。休み時間にも音楽に合わせて練習することで少しずつうまくなっていきました。

運動会当日は晴天のもと、笑顔で踊り通すことができたのが、何より素晴らしかったと思います。

かけっこは、昨年よりも力強く走れるようになりました。最後まで諦めずに走り抜く姿は、立派でした。

保護者の皆様の、あたたかい応援や大きな拍手、りがとうございました。



3年生

元気にかっこよく踊った「ヨッシャ！来い！！」。みんなで支え合いながら、心を一つにして取り組み、今までの自分たちを超えることを目標に、運動会当日に向けて一生懸命練習をしてきました。練習では、チームの中でお互いに教え合ったり、励まし合ったりする中で、一人一人が自信をもって踊れるようになっていきました。みんなで力を合わせて、一つのことに取り組んだことを原動力にして、後半の3年生の取り組みに活かしていきます。



4年生

前半に「島人ぬ宝」を踊り、後半は「ダイナミック琉球」の曲を使用したエイサーに挑戦しました。どちらの曲もゆったりとした動きとダイナミックな素早い動きが必要な難易度の高い踊りでした。子供たちは、休み時間にも一生懸命に練習に励みました。太鼓の力強い音をベースに「颯爽」とした風を感じられるように、みんなの心を一つに頑張りました。演技をやり切った子供たちの表情は最高に輝いていました。

この成果を学芸会につなげていきます。



5年生

鳴子を使って、速いテンポの踊りに挑戦しました。始めは、踊りの速さに驚き、全部踊りきることができるのか、不安に感じる子供もいました。しかし、全員で励まし合いながら、一生懸命に練習を重ねていくうちに、自信をもって踊れるようになっていきました。踊りに自信がつくと、声も大きく出せるようになり、迫力のある表現になりました。友達と声をかけ合ったり、動きのポイントを教え合ったりしながら、みんなで一つの演技をすることができました。



6年生

今年のソーラン節は「超輝笑越」という言葉をテーマに「自分たちの限界を超え、48人全員の笑顔を輝かせる。」ということに取り組んできました。ソーランリーダーを中心に、伝統を引き継ぎながらも新しい風を吹かせようと新しい振り付けも考えました。1幕で踊る基本の型だけでも相当の体力を使います。5幕構成で約20分の演技。毎回、練習が終わるときには汗びっしょりでした。本番では子供たちの努力が実り、見事踊りきることができました。仲間と協力して限界を超える心地よさを学ぶことができました。

